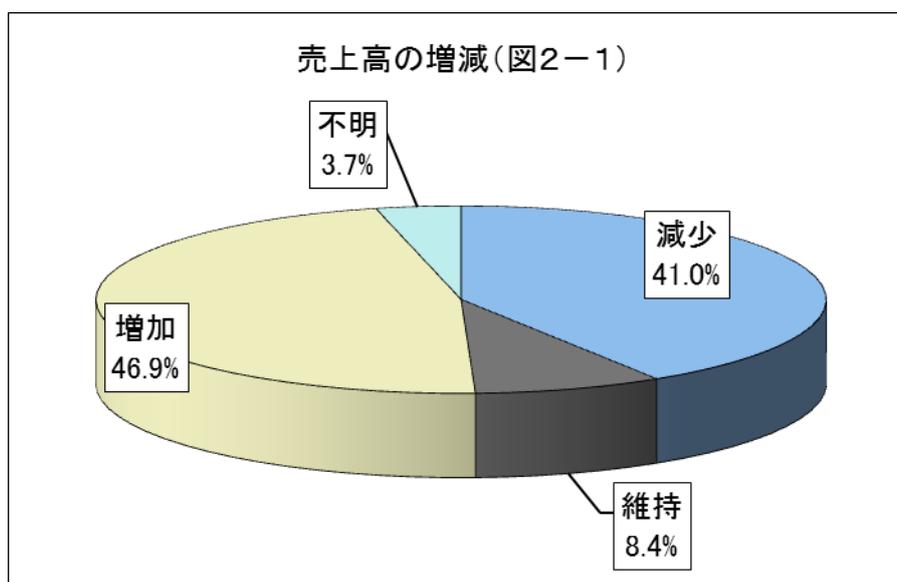


2 営業成績の状況

(1) 売上高の増減

仲卸業者全体のうち、46.9%の業者が前期に比べ売上高が増加した。一方で、41.0%の業者が売上高を減少させている。前年と比べると、増加した業者の割合は4.6ポイント減り、減少した業者の割合は5.0ポイント増えている。

※ 前年調査 増加 51.5%、維持 7.7%、減少 36.0%、不明 4.8%



部類別にみると、青果部及び食肉部では増加した業者が最も多く、水産物部では減少した業者が最も多かった。花き部では増加した業者と減少した業者が同数となった。

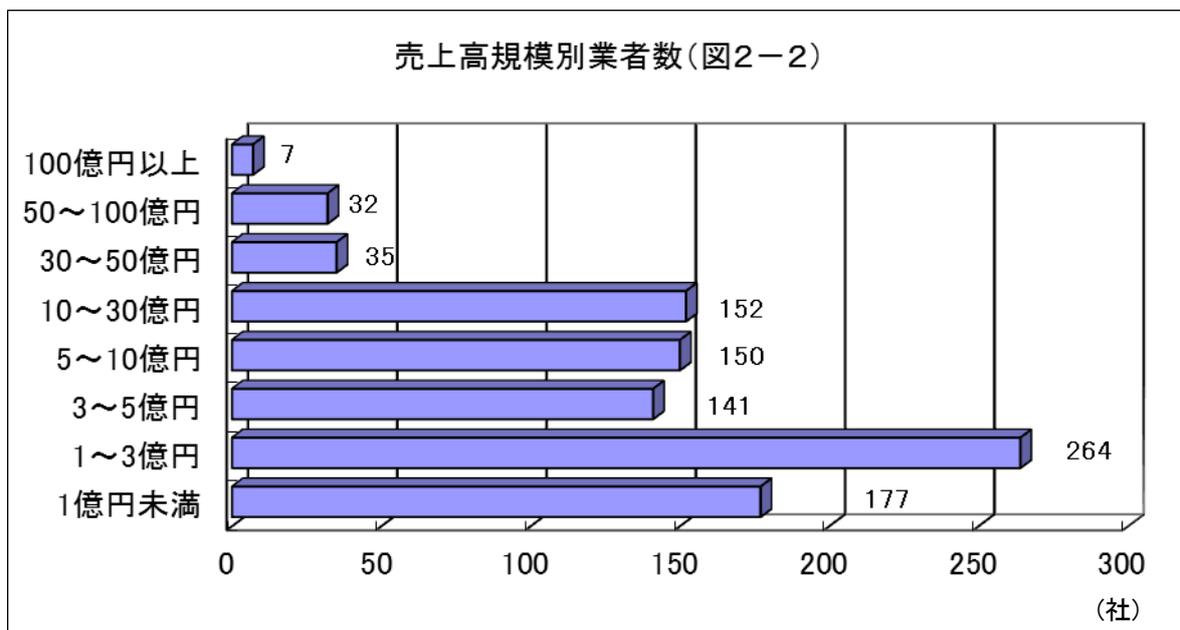
部類別・売上高の増減(表2-1)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	46.9%	8.4%	41.0%	3.7%
水産物部	43.7%	8.0%	44.9%	3.4%
青果部	51.5%	8.5%	35.4%	4.6%
花き部	40.5%	14.3%	40.5%	4.7%
食肉部	76.0%	4.0%	20.0%	0.0%

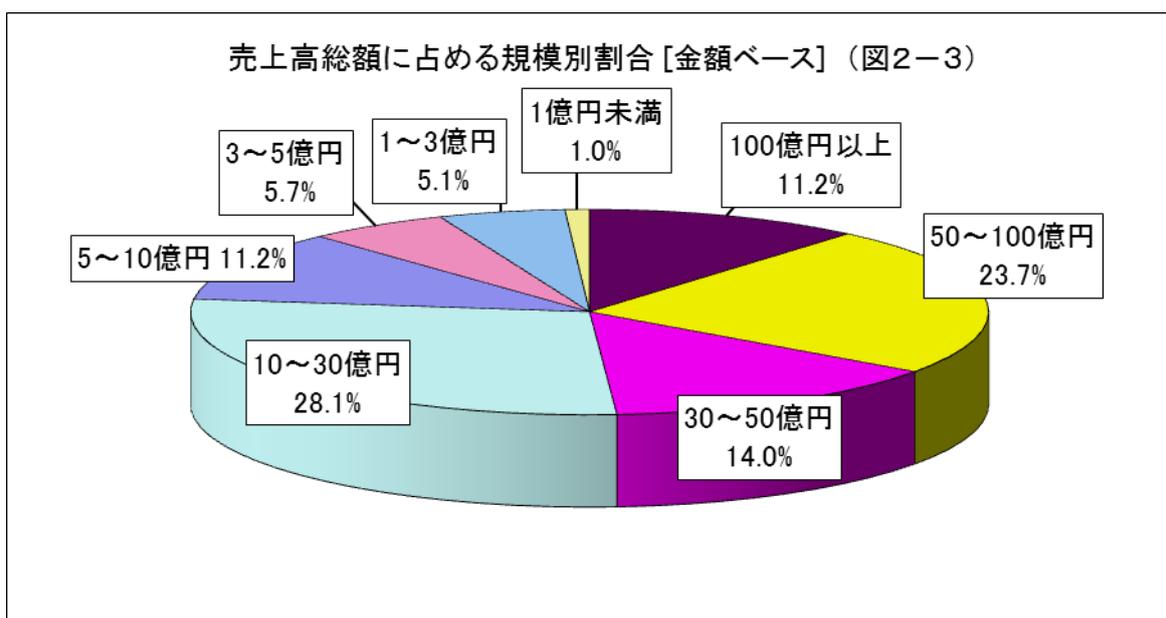
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(2) 売上高の規模別業者数

仲卸業者全体のうち、売上高1億円以上3億円未満の業者が最も多い。また、売上高が3億円未満の業者で全体の46.0%（441社）を占めている。



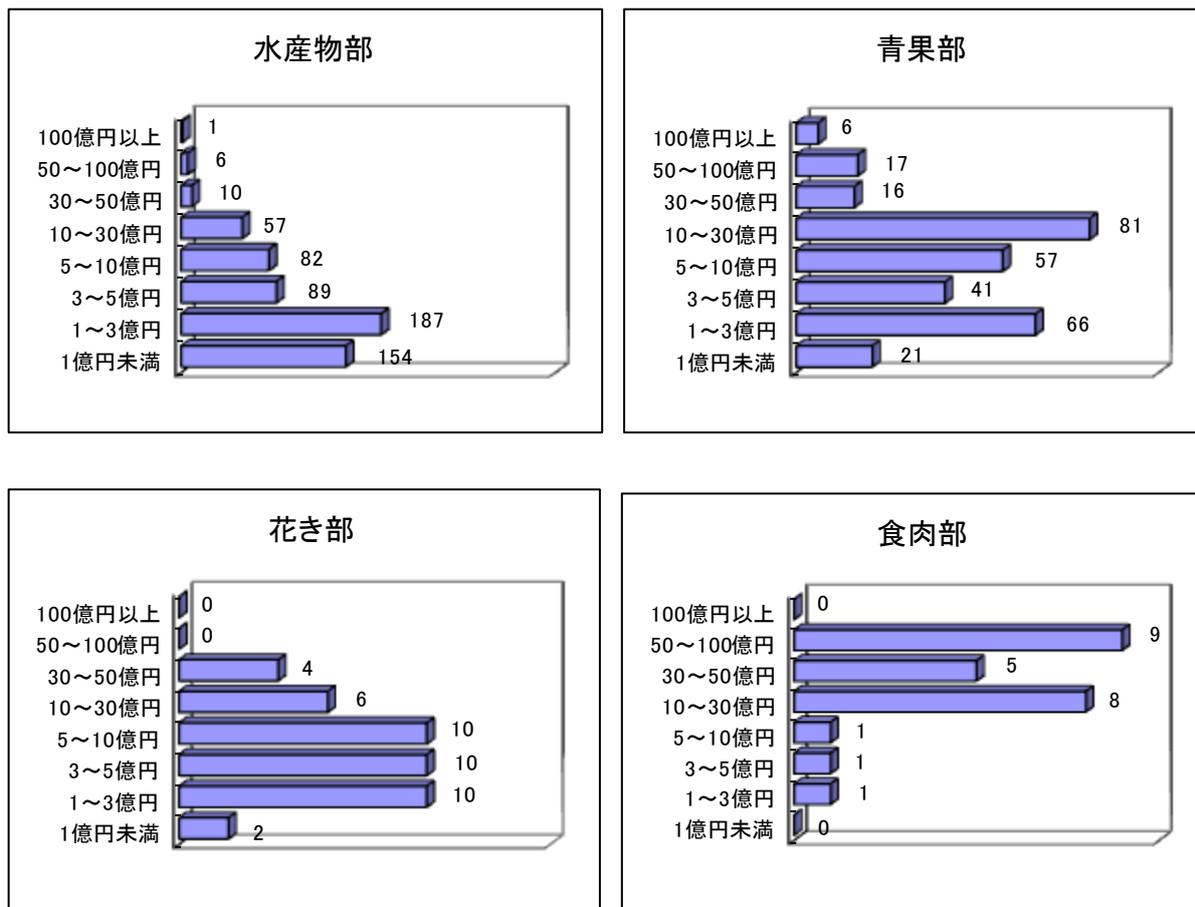
金額ベースにした売上高総額に占める規模別割合で見ると、半数近くを占める3億円未満の業者のシェアは6.1%に留まっている。



(3) 売上高の規模別・部類別業者数

部類別にみると、水産物部では1億円～3億円の層が、青果部では10億円～30億円の層が、食肉部では50億円～100億円の層が最も多くなっている。花き部では1億円～3億円、3億円～5億円及び5億円～10億円の層が同数となった。

売上高規模別・部類別業者数（図2-4）



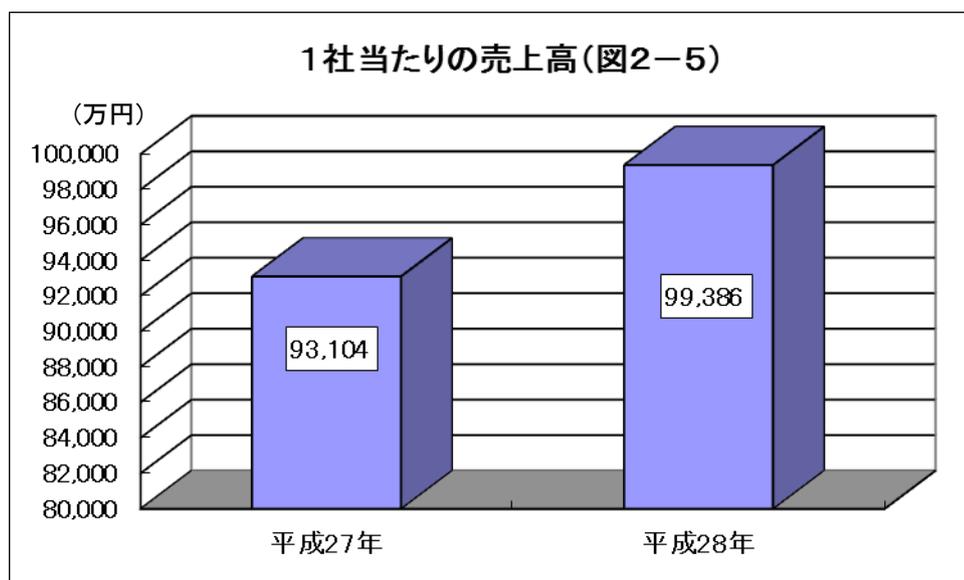
売上高規模別・部類別業者数（表2-2）

単位：社

	全 体	水 産 物 部	青 果 部	花 き 部	食 肉 部
100億円以上	7 (0.7%)	1 (0.2%)	6 (2.0%)	0 (-)	0 (-)
50～100億円	32 (3.3%)	6 (1.0%)	17 (5.6%)	0 (-)	9 (36.0%)
30～50億円	35 (3.7%)	10 (1.7%)	16 (5.2%)	4 (9.5%)	5 (20.0%)
10～30億円	152 (15.9%)	57 (9.7%)	81 (26.6%)	6 (14.3%)	8 (32.0%)
5～10億円	150 (15.7%)	82 (14.0%)	57 (18.7%)	10 (23.8%)	1 (4.0%)
3～5億円	141 (14.7%)	89 (15.2%)	41 (13.4%)	10 (23.8%)	1 (4.0%)
1～3億円	264 (27.6%)	187 (31.9%)	66 (21.6%)	10 (23.8%)	1 (4.0%)
1億円未満	177 (18.4%)	154 (26.3%)	21 (6.9%)	2 (4.8%)	0 (-)
合 計	958	586	305	42	25

(4) 1社当たりの売上高

仲卸業者全体の1社当たりの売上高は、前年の9億3,104万円から9億9,386万円と、6,282万円(6.7%)増加した。



部類別にみると、前年に比べ全ての部類で増加した。

1社当たりの売上高(表2-3)

	平成27年	平成28年	増減率
全体	93,104 万円	99,386 万円	106.7 %
水産物部	52,163 万円	54,540 万円	104.6 %
青果部	152,442 万円	161,766 万円	106.1 %
花き部	80,416 万円	86,809 万円	107.9 %
食肉部	393,001 万円	410,691 万円	104.5 %

(5) 売上総利益率の変化

売上総利益率（いわゆる粗利益率）は、全体では前年に比べ0.01%上昇した。部類別にみると、水産物部及び花き部では上昇し、青果部及び食肉部では下降した。

売上総利益率（表2-4）

	平成27年	平成28年
全体	12.56 %	12.57 %
水産物部	14.30 %	14.49 %
青果部	12.27 %	12.18 %
花き部	17.01 %	17.90 %
食肉部	7.00 %	6.59 %

売上総利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合をみると、全体では上昇した業者が下降した業者を若干上回った。部類別にみると、花き部では上昇した業者が半数を超え、食肉部では下降した業者が半数を超えた。水産物部及び青果部では上昇した業者が下降した業者を若干上回った。

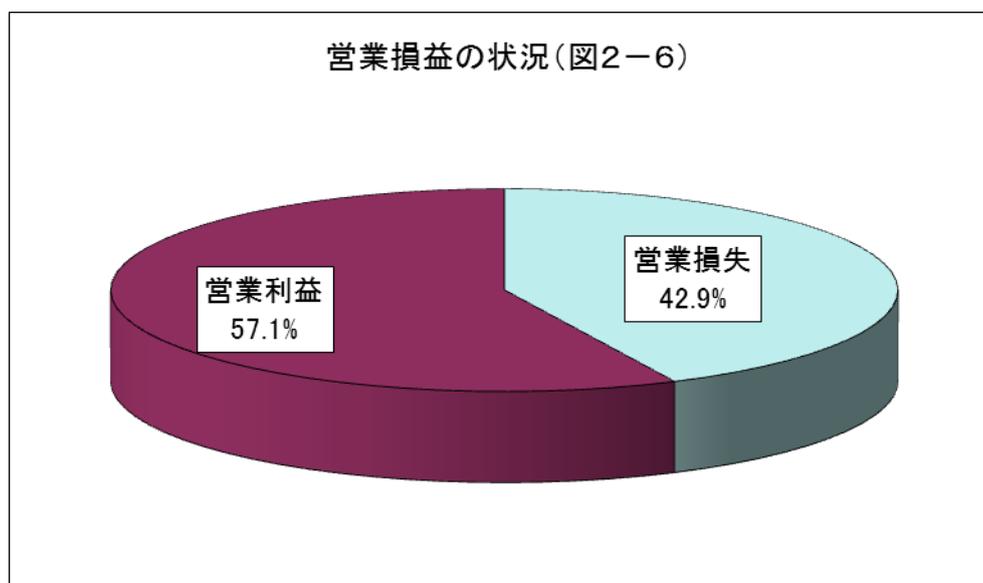
売上総利益率の変化（表2-5）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	48.2 %	48.0 %	3.8 %
水産物部	48.5 %	48.1 %	3.4 %
青果部	48.2 %	47.2 %	4.6 %
花き部	61.9 %	33.3 %	4.8 %
食肉部	20.0 %	80.0 %	0.0 %

(6) 営業損益の状況

営業利益(黒字)を計上した業者の割合が57.1%、営業損失(赤字)を計上した業者の割合が42.9%となり、前年に比べ黒字となった業者の割合が増加した。

※ 前年調査 黒字：赤字 = 55.1%：44.9%



部類別にみると、全ての部類で半数以上の業者が黒字となった。

営業損益の状況 (表2-6)

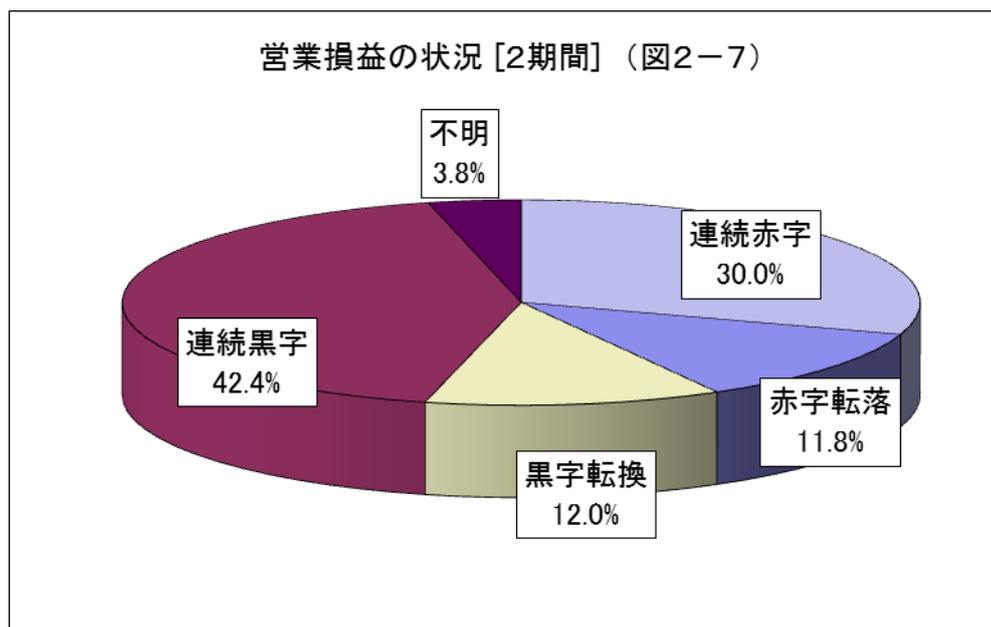
() 内は前年調査の数値

	営業利益 [黒字業者]	営業損失 [赤字業者]
全 体	57.1 % (55.1%)	42.9 % (44.9%)
水産物部	54.6 % (52.0%)	45.4 % (48.0%)
青果部	60.0 % (59.1%)	40.0 % (40.9%)
花き部	66.7 % (65.9%)	33.3 % (34.1%)
食肉部	64.0 % (65.4%)	36.0 % (34.6%)

(7) 営業損益の状況 (2期間)

営業損益が2期連続して黒字計上となった業者は42.4%、2期連続して赤字計上となった業者は30.0%となった。黒字に転換した業者は12.0%、赤字に転落した業者は11.8%となった。

※ 前年調査 連続黒字40.3%、黒字転換11.8%、赤字転落10.6%、連続赤字32.5%



部類別にみると、2期連続して黒字となった業者の割合は、食肉部が最も多く56.0%であった。また、黒字に転換した業者の割合及び赤字に転落した業者の割合は、ともに花き部が最も多く、2期連続して赤字となった業者の割合は、水産物部が最も多かった。

営業損益の状況 (2期間) (表2-7)

()内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	42.4 % (40.3%)	12.0 % (11.8%)	11.8 % (10.6%)	30.0 % (32.5%)	3.8 % (4.8%)
水産物部	40.1 % (36.6%)	11.9 % (11.6%)	11.3 % (12.1%)	33.3 % (33.7%)	3.4 % (6.0%)
青果部	44.9 % (45.2%)	11.8 % (12.3%)	12.8 % (7.6%)	25.9 % (32.2%)	4.6 % (2.7%)
花き部	47.6 % (44.0%)	16.7 % (19.5%)	14.3 % (14.6%)	16.7 % (19.5%)	4.7 % (2.4%)
食肉部	56.0 % (65.5%)	8.0 % (0.0%)	8.0 % (3.8%)	28.0 % (26.9%)	0.0 % (3.8%)

(8) 営業利益率の変化

営業利益率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、水産物部及び青果部では下降し、花き部では上昇した。食肉部では前年と同率となった。

営業利益率（表 2 - 8）

	平成 27 年	平成 28 年
全 体	0.57 %	0.51 %
水産物部	0.22 %	0.21 %
青果部	0.89 %	0.75 %
花き部	0.56 %	0.60 %
食肉部	0.21 %	0.21 %

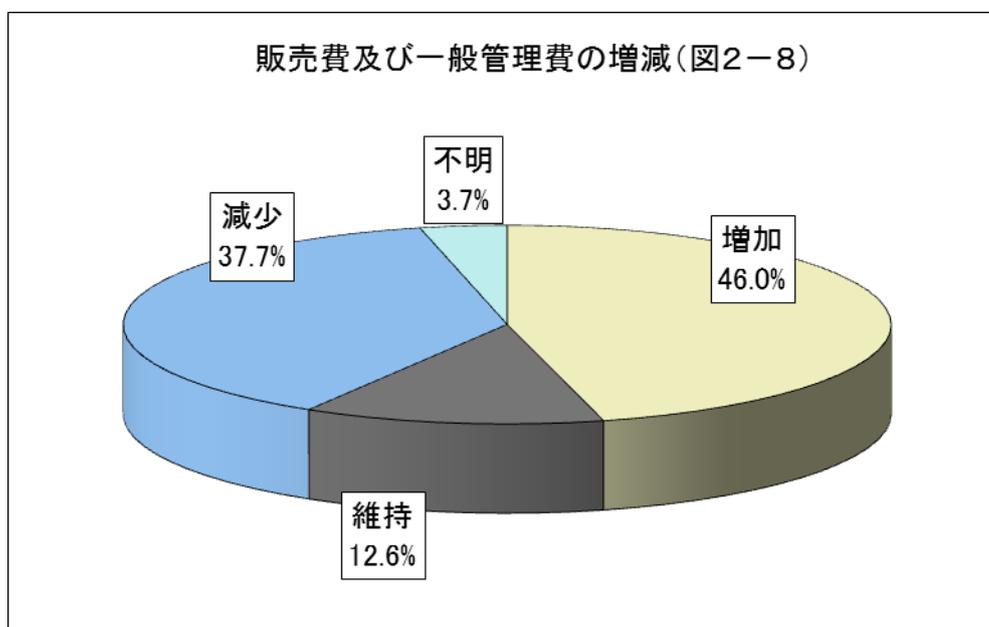
営業利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を部類別にみると、花き部では上昇した業者が半数を超え、水産物部及び食肉部では下降した業者が半数を超えた。

営業利益率の変化（表 2 - 9）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全 体	46.7 %	49.5 %	3.8 %
水産物部	45.9 %	50.7 %	3.4 %
青果部	47.9 %	47.5 %	4.6 %
花き部	52.3 %	42.9 %	4.8 %
食肉部	40.0 %	60.0 %	0.0 %

(9) 販売費及び一般管理費の増減

販売費及び一般管理費（以下、「販管費」）が減少した業者は37.7%、増加した業者は46.0%となった。



部類別にみると、水産物部、青果部及び花き部では、販管費が増加した業者が減少した業者を上回った。食肉部では、減少した業者が増加した業者を上回った。

販売費及び一般管理費の増減（表2-10）

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	46.0 %	12.6 %	37.7 %	3.7 %
水産物部	45.4 %	12.3 %	39.1 %	3.2 %
青果部	48.2 %	13.8 %	33.4 %	4.6 %
花き部	50.0 %	11.9 %	33.3 %	4.8 %
食肉部	24.0 %	8.0 %	68.0 %	0.0 %

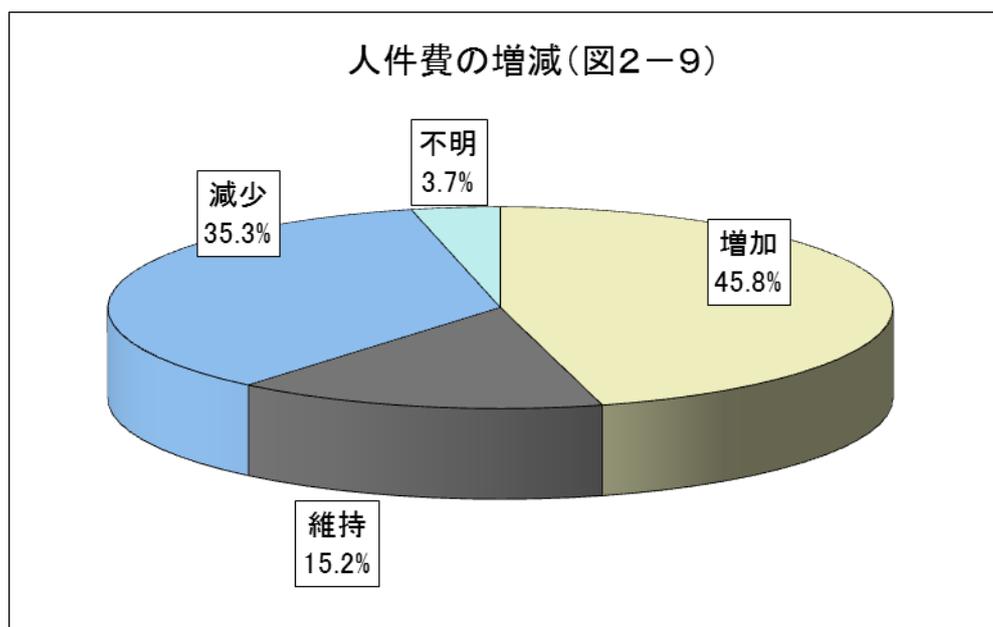
※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(10) 人件費の増減

人件費(※)が増加した業者は45.8%、減少した業者は35.3%、維持した業者は15.2%となり、増加した業者が減少した業者を上回った。

※ 人件費 役員報酬、給与手当、福利厚生費、退職共済掛金 等

※ 前年調査 増加41.3%、維持14.1%、減少39.8%、不明4.8%



部類別にみると、水産物部、青果部及び食肉部は増加した業者が減少した業者を上回り、花き部は増加した業者と減少した業者が同数となった。

人件費の増減(表2-11)

	増加した業者	維持した業者	減少した業者	不明
全体	45.8%	15.2%	35.3%	3.7%
水産物部	44.6%	16.0%	36.2%	3.2%
青果部	49.2%	12.8%	33.4%	4.6%
花き部	40.5%	14.3%	40.5%	4.7%
食肉部	44.0%	28.0%	28.0%	0.0%

※ 維持は、前年比1%未満の増加及び減少。

(11) 人件費比率の変化

売上高対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、水産物部及び花き部は上昇し、青果部及び食肉部は下降した。

売上高対人件費比率（表2-12）

	平成27年	平成28年
全体	6.28%	6.25%
水産物部	8.08%	8.18%
青果部	5.64%	5.55%
花き部	9.24%	9.40%
食肉部	2.54%	2.46%

売上総利益対人件費比率は、全体では前年に比べ下降した。部類別にみると、水産物部、青果部及び花き部は下降し、食肉部は上昇した。

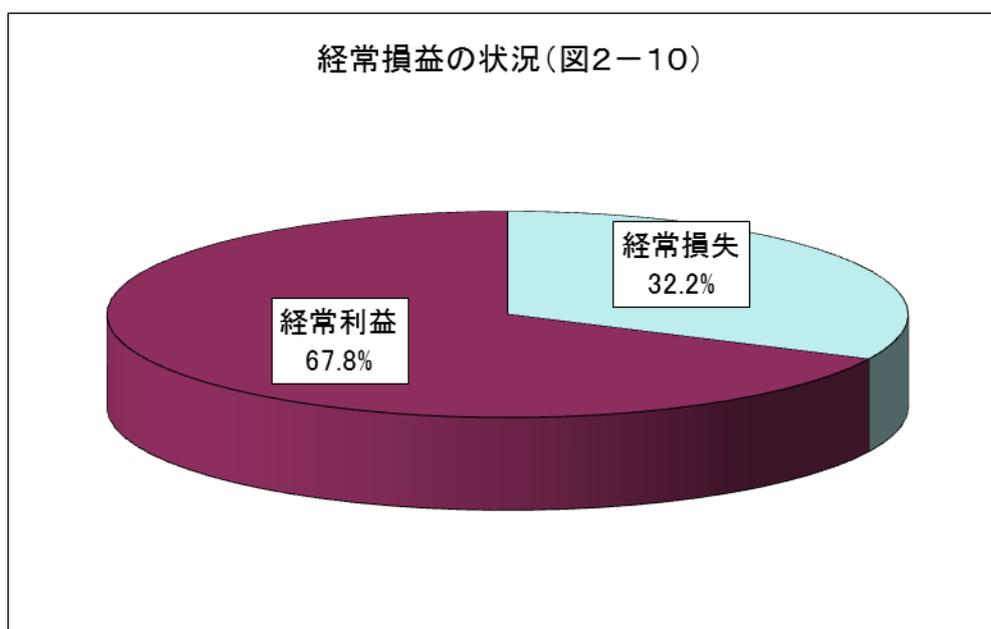
売上総利益対人件費比率（表2-13）

	平成27年	平成28年
全体	49.98%	49.72%
水産物部	56.49%	56.47%
青果部	46.00%	45.60%
花き部	54.28%	52.50%
食肉部	36.25%	37.37%

(12) 経常損益の状況

経常利益(黒字)を計上した業者の割合は67.8%、経常損失(赤字)を計上した業者の割合は32.2%と、前年に比べ黒字業者の割合が1.9ポイント増加した。

※ 前年調査 黒字：赤字 = 65.9%：34.1%



前年と比較すると、全ての部類で黒字業者の割合が増加した。

経常損益の状況(表2-14)

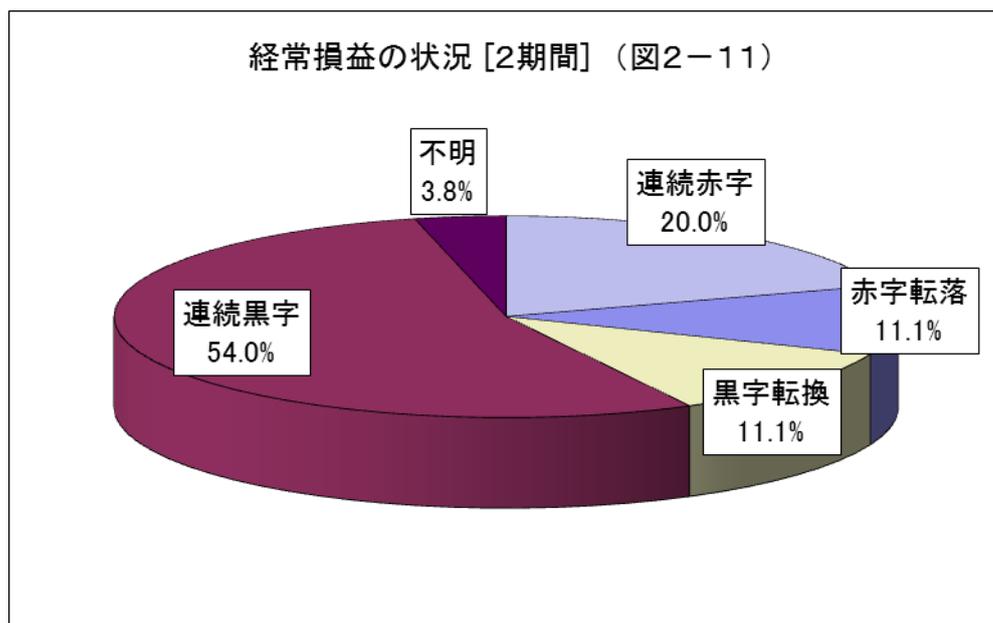
() 内は前年調査の数値

	経常利益 [黒字業者]		経常損失 [赤字業者]	
全体	67.8%	(65.9%)	32.2%	(34.1%)
水産物部	62.3%	(61.6%)	37.7%	(38.4%)
青果部	76.1%	(73.1%)	23.9%	(26.9%)
花き部	76.2%	(70.7%)	23.8%	(29.3%)
食肉部	84.0%	(76.9%)	16.0%	(23.1%)

(13) 経常損益の状況 (2期間)

経常損益が2期連続して黒字計上となった業者は54.0%となり、前年と比べ増加した。一方、2期連続して赤字計上となった業者は20.0%となり、前年に比べると減少した。また、黒字に転換した業者の割合、赤字に転落した業者の割合はともに11.1%となった。

※ 前年調査 連続黒字49.8%、黒字転換12.7%、赤字転落11.6%、連続赤字21.1%



部類別にみると、全ての部類で連続黒字業者の占める割合が最も多く、青果部、花き部及び食肉部では半数を超えた。

経常損益の状況 (2期間) (表2-15)

() 内は前年調査の数値

	連続黒字業者	黒字転換業者	赤字転落業者	連続赤字業者	不明
全体	54.0% (49.8%)	11.1% (12.7%)	11.1% (11.6%)	20.0% (21.1%)	3.8% (4.8%)
水産物部	48.7% (44.9%)	10.9% (12.4%)	12.6% (11.9%)	24.4% (24.8%)	3.4% (6.0%)
青果部	61.6% (58.7%)	11.5% (12.3%)	9.5% (11.0%)	12.8% (15.3%)	4.6% (2.7%)
花き部	61.9% (48.9%)	11.9% (19.5%)	4.8% (14.6%)	16.7% (14.6%)	4.7% (2.4%)
食肉部	72.0% (61.6%)	12.0% (15.4%)	4.0% (7.7%)	12.0% (11.5%)	0.0% (3.8%)

(14) 経常利益率の変化

経常利益率は、全体では0.78%と前年を若干下回った。部類別にみると、水産物部及び花き部では上昇し、青果部及び食肉部では下降した。

経常利益率（表2-16）

	平成27年	平成28年
全体	0.79%	0.78%
水産物部	0.60%	0.61%
青果部	1.06%	1.00%
花き部	0.42%	0.74%
食肉部	0.26%	0.25%

経常利益率が上昇した業者数と下降した業者数の割合を部類別にみると、水産物部及び食肉部は下降した業者が上昇した業者を上回り、青果部は上昇した業者が下降した業者を上回った。花き部は上昇した業者と下降した業者が同数であった。

経常利益率の変化（表2-17）

	上昇した業者	下降した業者	不明
全体	47.8%	48.4%	3.8%
水産物部	45.6%	51.0%	3.4%
青果部	52.1%	43.3%	4.6%
花き部	47.6%	47.6%	4.8%
食肉部	48.0%	52.0%	0.0%

(15) 従事員1人当たり売上高

従事員1人当たり売上高は、全体では前年に比べ増加した。部類別にみると、水産物部、青果部及び食肉部では増加し、花き部では減少した。

従事員1人当たり売上高(表2-18)

	平成27年	平成28年
全体	8,321 万円	8,762 万円
水産物部	6,299 万円	6,432 万円
青果部	9,715 万円	10,617 万円
花き部	4,541 万円	4,474 万円
食肉部	22,507 万円	23,549 万円

従事員1人当たり売上高が増加した業者数と減少した業者数の割合を部類別にみると、全ての部類で増加した業者が減少した業者数を上回った。

従事員1人当たり売上高の増減(表2-19)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	51.8 %	44.4 %	3.8 %
水産物部	50.5 %	46.1 %	3.4 %
青果部	52.5 %	42.6 %	4.9 %
花き部	52.4 %	42.9 %	4.7 %
食肉部	72.0 %	28.0 %	0.0 %

(16) 従事員1人当たり売上総利益

従事員1人当たり売上総利益は、全体では前年に比べ増加した。部類別にみると、食肉部では減少し、その他の部類では増加した。

従事員1人当たり売上総利益(表2-20)

	平成27年	平成28年
全体	1,045 万円	1,101 万円
水産物部	900 万円	932 万円
青果部	1,192 万円	1,293 万円
花き部	773 万円	801 万円
食肉部	1,577 万円	1,553 万円

従事員1人当たり売上総利益が増加した業者数と減少した業者数の割合を部類別にみると、水産物部、青果部及び花き部では増加した業者が上回り、食肉部では減少した業者が上回った。

従事員1人当たり売上総利益の増減(表2-21)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	51.4 %	44.8 %	3.8 %
水産物部	49.7 %	46.9 %	3.4 %
青果部	54.1 %	41.0 %	4.9 %
花き部	57.1 %	38.1 %	4.8 %
食肉部	48.0 %	52.0 %	0.0 %

(17) 従事員1人当たり人件費

従事員1人当たり人件費は、前年に比べ全ての部類で増加した。

従事員1人当たり人件費(表2-22)

	平成27年	平成28年
全体	522 万円	548 万円
水産物部	509 万円	526 万円
青果部	548 万円	590 万円
花き部	419 万円	420 万円
食肉部	571 万円	580 万円

従事員1人当たり人件費が増加した業者数と減少した業者数の割合を部類別にみると、全ての部類で増加した業者が上回った。

従事員1人当たり人件費の増減(表2-23)

	増加した業者	減少した業者	不明
全体	52.8 %	43.3 %	3.9 %
水産物部	52.4 %	44.2 %	3.4 %
青果部	53.8 %	41.3 %	4.9 %
花き部	52.4 %	42.9 %	4.7 %
食肉部	52.0 %	48.0 %	0.0 %